

## 生活保護ケースワークAI支援サービスの導入について

### 1 目的

生活保護業務では、申請者の生活状況に応じた対応が必要となるため、法令や国通知、運用事例集等（以下「法令等」という。）の確認を要する頻度が多い。また、法令等の内容が複雑であることから、職員がその確認や判断に時間を要する状況がある。

そこで、新たに生活保護ケースワークAI支援サービスを導入し、事務の効率化及び職員の負担軽減を図ることで、円滑な生活保護業務を行う。

### 2 サービスの内容

生活保護に関する質問事項について、法令等をAIが検索し、適切な根拠法令等の候補を提示する支援サービス

《例》

【検索】 原動機付自転車の保有を生活保護受給者に認めても良いか。



【検索結果】

多くの資料から、AIが回答となる根拠法令等を提示

「生活保護 問答集 ○-○」  
「東京都 生活保護運用事例集 問△-△」  
「厚生労働省 保護課長通知 □年第×号」

法令等を選択

法令等の条文が示され、『用途等を確認し、「所有する方が自立の助長につながる」などの条件を満たす場合は保有が認められる』といった内容を確認できる。

### 3 予算額（既定経費）

990千円（使用料 月330千円）

### 4 開始時期

令和7年1月